



小松 大成 議員 (無会派)

一括質問方式

【その他の質問】

○安部首相の憲法改正発言に対する市長の見解について

県立高校再編計画に  
対する市長の見解を伺う

問

昨年12月寝耳に水のごとく高校再編計画が新聞報道された。遠野市では遠野緑峰高校の閉校が大きな関心事となっている。再編計画の理念として「岩手を担う自立した社会人の育成」としているが、「岩手を担う自立した社会人の育成」との崇高な理念とは裏腹に、「遠野市における自立した社会人の育成とは何か」との私の問いに

県教育委員会は明確に答えることはなかった。理念なき数合わせの再編計画と言わざるを得ない。遠野市としてのこの問題にどのように対応するのか、市長の見解を伺う。

答

市内における県立高校2校の存続は多くの市民の総意として受け止めている。来る3月6日に開催される「高校再編を考える市民シンポジウム」が開催さ

れると聞いており、そこで出された意見をもとに岩手県・県議会・県教育委員会に遠野市としての意見を届ける。



各分野で活躍の目立つ県立遠野緑峰高校

TPP大筋合意・調印に対する  
市長の見解について

問

2月4日ニューヨークでTPP協定の調印が行われた。マスコミ報道も、もはやTPP協定は決着したかの報道が流されている。さらに、TPP協定の多くの部分が不明であるにも関わらず、政府は、影響はそれほどないといった宣伝をしている。今でも市内農家と農業者の減少に歯止めがかからない状況下でTPP協定が発効した場合、甚大な影響を及ぼすと考えられるが市長の見解は。

答

TPP協定については、交渉にあたっての詳細の情報が得られない中で合意は問題がおおきいとして反対の考えを表してきた。遠野市においても畜産、特に肉牛への影響は大きいものと想定される。国には説明責任を果たすとともに、しっかりと対策を講ずる。



菊池 美也 議員 (政和クラブ)

一問一答方式

【その他の質問】

○宿泊地として魅力向上を目指す考えは。  
○魅力ある専門高校とは何か。魅力ある普通高校とは何か。

観光推進計画について

市街地観光の振興は、  
遠野を活性化させる

問

宿場町・城下町として栄えた街場の空洞化は遠野の活力低下を招く。観光推進計画の対策構想の一つであり、市街地活性化の一助となる「市街地観光の再構築」をどう考えるか。

答

本市の観光施設は広く点在し、移動時間の考慮が必要である。一方、市街地は時間を有効に使える。いかに回

問

遊させるかが課題。第二次中心市街地活性化基本計画は、市民と観光客に愛され、各世代が安心して楽しく回遊するまちづくりを目指す。また、ICT(情報通信技術)を活用し、WiFi環境の整備に着手する。

答

観光推進協議会は、観光推進計画の早期目標達成に向け課題に取り組む組織として示されたが、東日本大震災の発災で協議は分断された。平成26年度に観光関係機関・団体が設立した「マーケティング

店街や団体との連携不足について報告された。関係機関のまとめ役である「遠野市観光推進協議会」の活動状況を伺う。

委員会」の来訪者の実態・市場環境の調査報告でも、今後の取組みとして「連携をサポートする機能や人材育成」の必要性が挙げられた。平成28年度中に観光推進計画を再策定し、短期・中期計画、組織の見直しを図る。

※WiFi(ワイファイ)環境とは、パソコンが無線でインターネットに繋がる環境。

みんなで、市内の高校の  
在り方を考えよう！



200名が参加した、「高校再編を考える市民シンポジウム」両校を存続させるために、努力する余地はまだある。

問

県立高等学校再編計画(案)により市内一高校となった場合の影響は。

答

校舎制は、授業では教員が、行事・部活等では生徒が校舎間を移動する。生徒が緑峰高校の志望を敬遠しない

か、委縮しないか、一体感が醸成できるかという心配がある。課題が多く、生徒・教員に負担がかかる制度と捉える。また、これまで同様に地元産業界を支える人材を輩出できるのか、地域の衰退に繋がらないかなど与える影響は大きい。